

令和５年度第１回千歳市中小企業振興審議会 開催結果

日 時 令和６年２月２６日（月） １４：００～１５：００

場 所 千歳市総合福祉センター４０２号室

出席者 横田市長

千歳市中小企業振興審議会委員（１２名）

藤川委員、今村委員、小松委員、立田委員、諏訪委員、小渡委員、佐藤委員、曾根委員、

五十嵐委員、檜森委員、磯部委員

事務局（４名）

産業振興部次長、商業労働課長、商業労働課商業振興係長、商業労働課主査（産業政策担当）

会議次第

１ 開 会

２ 委嘱状交付

３ 横田市長挨拶

４ 会長及び副会長の選任

５ 藤川会長挨拶

６ 議 事

（１）報告事項

報告第１号 千歳市を取り巻く経済等の概況について （別冊１）

報告第２号 千歳市中小企業振興融資について （別冊２）

報告第３号 創業支援関連事業について （別冊３）

報告第４号 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策の結果について （別冊４）

事務局から資料に基づき説明。

<報告抜粋（第１号）>

・人 口

千歳市は道内で最も若く、人口増加を続け数少ない街であったが、令和３年以降は人口が徐々に減少するなど、少子高齢化が着実に進んでいる。

・雇用情勢

ハローワーク千歳における、千歳圏（恵庭、夕張地区を含む）の有効求人倍率は、年度平均・月間有効求人倍率いずれも、全国平均や全道平均と比較して、やや低い状況となっている。

・観 光

新型コロナウイルス感染症の影響でコロナ前の３分の１程度まで落ち込んでいたが、昨年度から回復傾向となっており、今年度は更に回復することを期待している。

新千歳空港の乗降客数については、令和４年から回復し、昨年は新型コロナウイルス感染症前の水準まで戻ってきている。

・金融

預金額、貸出金額ともに令和2年以降増加している。

＜報告抜粋（第2号）＞

千歳市中小企業振興融資制度は、市内中小企業への支援として、市内6金融機関に融資原資を預託し、各金融機関は、運転資金など6つの資金の融資を行っている。

これら資金については、市が総額5億5,000万円を市内各行に預託し、各金融機関には、預託額の3倍以上の融資枠を設定頂いている。

令和4年度は、104件、6億7364万7千円の新規融資が実行された。

融資額は令和2年度に大きく減少しているが、これは令和2年度に実行した「新型コロナウイルス感染症対応資金」の導入により、通常の制度融資があまり使われなかったものであり、昨年度から融資額が増加している。

＜報告抜粋（第3号）＞

本市では、「第3期千歳市商業振興プラン」の取組の1つとして、「事業者の各種課題やニーズに対する支援」を掲げており、平成28年12月26日に「創業支援事業計画」を策定以降、創業希望者や創業者への支援強化を図ることとしている。

令和4年度については、「ちとせ創業支援セミナー」、「女性向け起業セミナー」を実施した。

「ちとせ創業支援セミナー」について、具体的には、これから創業する予定である方を主な対象として、「経営」「税務」「販路開拓」「人材育成」のジャンルごとに、経営の基礎知識や事業計画の策定方法など、創業時に必要となるノウハウを習得することを目的に全4回実施し、延べ42名の方の参加があった。

「女性のための起業セミナー」については、セルフプロデュースや、SNSを活用した情報発信などに関するセミナーを同一内容で2回実施し、合計42名が参加した。

＜報告抜粋（第4号）＞

これまで、市独自の経済対策としては、大きく（1）事業者向け給付金、（2）事業者向け融資制度、（3）市民向け商品券発行事業、（4）観光客向け商品券発行事業の事業を実施してきた。

新型コロナの5類移行により、経済活動は正常化に向かいつつあるが、市では、引き続き、国や北海道の動向などを注視しながら、随時、必要経済対策を検討していくこととしている。

報告事項に係る質疑・意見等はなく、報告済となった。

（3）情報交換【中小企業の現状について】

（会長）

中小企業の現状について、各委員の所感等を伺いたい。

（A委員）

市内の景気は回復傾向にあると感じている。

一方で最低賃金が上昇することによって、パート従業員が扶養の枠を超えないように、勤務時間を調整する事例が増えており、先行して半導体工場の建設が進む熊本県でも同様の傾向が見られることから、先を見据えた対応が必要である。

（B委員）

市内の不動産市場は活況であり、賃貸需要が増加している。

(C 委員)

半導体工場の進出に伴い、先方への提案窓口が商工会議所となっていることもあり、新規の会員が増えている。

市内事業者の会員だけではなく、市外事業者の会員（特別会員）も増えており、千歳市の未来への期待が感じられる。

一方で、人手不足や原材料費高騰に伴う影響が市内事業者でも見られる。

(D 委員)

女性や高齢者も多く雇用していることもあり、人材確保・賃金上昇が課題となっている。

特に、最低賃金は毎年上昇しているが、扶養の枠がそのままであるため、扶養の枠内で働こうとすると、最低賃金が増える度に働ける時間が短くなるので、人材確保が大変である。

今後、半導体工場などの影響で賃金は更に上昇することが見込まれるので、人材確保がより大変になると思う。

(E 委員)

半導体工場進出に伴う効果で、住宅（共同住宅）やオフィスにおける資金需要が高まっている。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を今だ受けている事業者も見られる。

新規の資金需要があった際は、政府系金融機関とも連携して対応を進めている。

(F 委員)

空港・飲食関連の業種では人が戻ってきており、景気は回復基調にあると感じており、土木関係も比較的堅調である。

一方で、人手不足・資材高騰・人件費上昇などの影響が出ているほか、半導体工場進出に伴う効果を実感している事業者はまだ少ない印象である。当庫で実施したアンケートでも、7割の事業者は景況感について「横ばい」「やや悪い」と回答している。

設備投資についても消極的な事業者が多く、9割の事業者は予定がないと回答している。

また、不動産価格が増えていることで、住宅（個人）については建築に係る抵抗感が高まっている。

(G 委員)

半導体工場進出など、人の動きが増えてきており、景況感としては徐々に回復していると感じている。

融資の状況としては、ゼロゼロ融資の返済が本格的にスタートしているが、想像以上に順調に返済が進んでいる。

(H 委員)

半導体工場進出について期待感を抱いている事業者は多いが、実感がある事業者はまだ少ない。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が想定以上に長引き、ダメージを受けている事業者も見られる。

千歳市の制度融資については、新規開業支援資金の利用者が増えつつあるという印象を受けている。

(I 委員)

当庫としては、元々不動産融資にウエイトを置いている。

土地や資材価格が高騰していることで、新規融資が難しくなる事例も見られるほか、既に不動産を所有する事業者からは、固定資産税が増えると困るとの声も聴いている。

また、市内で土地や資材価格が高騰している影響で、千歳で投資しようとしていた事業者が、苫小牧や恵庭に流出している事例も見られる。

現時点で制度融資の利用は無いが、今後積極的に活用していきたい。

(K委員)

今回、様々なご意見を頂戴し、感謝申し上げます。

商工会議所の皆様につきましては商品券事業など、工業クラブの皆様につきましては雇用確保など、金融機関の皆様には融資などでご協力いただいていることに感謝申し上げます。

先日新千歳空港を利用した際、利用者がかなり戻ってきているような印象を受けており、市内にも効果が波及していると考えている。

一方で人手不足が深刻化しており、立地企業や誘致しようとする企業からは必ず人材確保について聞かれる。

市内においても出生数が減少しており、これは将来の働き手減少にもつながることから、近隣自治体から呼び込む対応も必要と考えている。

来年度、市では高校生向けバスツアーの実施を予定しており、市内の高校生に地元の企業を知ってもらい、就職先として選んで頂く取組を進めていく。

4 閉会